

多宝会新聞

発行所
 社会福祉法人多宝会
 本部事務局広報室
 福島市本町4-23
 024-522-6611
 mail
 honbu@
 tahokai.
 jp

市内中学校にて 職場見学プログラム開催

去る12月7日に福島市立渡利中学校にて、中学1年生約80名を対象に「福祉・介護の職場見学プログラム」が開催された。福島県社会福祉協議会の依頼で、福島市内の高齢者施設と障害者施設が講演等を行った。高齢者施設では「まちなか宝生園」に依頼があり、まちなか宝生園(施設長)安西直美、(副施設長)松川綾子、生活支援課(課長補佐)咲田卓美が参加した。本来であれば「職場見学プログラム」ということで、施設見学や実際の介護体験、職員への質問等が施設現場で行われるのだが、昨今のコロナ禍ということで、こちらから出向いてのプログラムである。最初に10分ほど福島県社会福祉協議会によりオリエンテーションを行い、その後松川副施設長が、スライドを織り交ぜながら、高齢者の運動機能や生活パターンの施設での利用者生活の様子や職員の業務内容、施設紹介等を行った。



その後、生徒が、高齢者の身体能力等の疑似体験を行い、加重チョッキや膝サポーターを実際に装着し、車いすの乗り降り、杖を歩行するなどを体験した。装着した生徒は、普段と違った自分の運動能力に驚いている様子で、苦笑いを見せていた。周りで見学している生徒からは、普段と違う動きに、終始笑い声が絶えなかった。体験後、生徒からは「歩きづらくて大変だなと思った」「これからは高齢者に優しくする」などの感想があった。また先



た動きに、終始笑い声が絶えなかった。体験後、生徒からは「歩きづらくて大変だなと思った」「これからは高齢者に優しくする」などの感想があった。また先

その後、生徒が、高齢者の身体能力等の疑似体験を行い、加重チョッキや膝サポーターを実際に装着し、車いすの乗り降り、杖を歩行するなどを体験した。装着した生徒は、普段と違った自分の運動能力に驚いている様子で、苦笑いを見せていた。周りで見学している生徒からは、普段と違う

生からも「まちなか宝生園」になり、自分のためにもなった。「座学だけでは伝えづらいことも、体験することで本当に分かりやすいプロ



プログラムであり、生徒が分かりやすかったと思う」と感謝の言葉をいただいた。このプログラムにより、参加した生徒の皆様が、一時代を築いてこられた社会の「宝」である高齢者の皆様に、敬意と感謝の心が育まれることを願いたい。



去る10月18日宝寿木村屋において「2022年度日本郵便年賀寄付金配分事業による機器贈呈式」が挙行された。日本郵便株式会社では国民の福祉の増進を図ることを目的として「寄付金付お年玉付郵便はがき」一寄付金付お年玉付郵便「親切手」を発行しており、その寄付金を「お年玉付郵便葉書等に関する法律」に定められている10の分野の事業を行う団体に配分している。初めに、日本郵便株

就活準備セミナーに参加

去る11月8日アクティブシニアセンター・アオウゼにおいて、福島市主催の結婚や出産等で離職した女性が再就職に関する不安を払拭し、スムーズな再就職へと繋げることを目的に「そろそろ働きたい女性のための就活準備セミナー」がわたしらしくはたらく」が開催された。セミナーでは、福島市働く女性応援認定企業女性社員トークイベント



交えながら20分ほどの講演を行った。その後「ゆるつとワークショップ」と題して5人ほどでグループワークを行い、参加者からの困りごと等に応え、一切が終了した。「このセミナーをきっかけに、女性の社会進出を後押ししたい。その中で多宝会を選んでもらえば、もっと良いかな」と、笑顔で話していた。多宝会では、令和4年3月1日に「福島市働く女性応援認定企業」として、福島市より認定されている。

日本郵便年賀寄付金配分事業による機器贈呈式挙

去る10月18日宝寿木村屋において「2022年度日本郵便年賀寄付金配分事業による機器贈呈式」が挙行された。日本郵便株式会社では国民の福祉の増進を図ることを目的として「寄付金付お年玉付郵便はがき」一寄付金付お年玉付郵便「親切手」を発行しており、その寄付金を「お年玉付郵便葉書等に関する法律」に定められている10の分野の事業を行う団体に配分している。初めに、日本郵便株

第25回理事会

去る10月13日まちなか宝生園2階会議室にて、第25回理事会が開催された。冒頭に加藤理事長より「第7波コロナ禍で、医療機関、他施設等でクラスターが発生するなかで、職員の奮闘により法人も守られている。今後も一切の油断を排して運営してまいりたい」と挨拶があった。その後、最低賃金変更、国の指針によるベースアップ等に伴う諸規則変更、アリアール宝生園の業務用洗濯機等を、助成金を活用しての業務契約が議題となり、満場一致で



ふくしま障害者就職面接会

去る11月7日コラッセふくしまにおいて、ハローワーク主催の「ふくしま障害者就職面接会」が開催された。県内約25社が参加し、約120名が来場した。当法人からは人財資源課(課長)安齋将人が参加した。求職者達は、業務内容や研修の有無、勤務時間等を真剣に聞き入っていた。面接会終了後、安齋課長より「業務内容・スケジュールもその人にあった業務内容等を見つけて出し、雇用していきたい。今回の説明会も手心えがあった」と、声を弾ませていた。



施設の話題をいち早くお届けする

多宝会 HOTLINE



ケアハウスで秋のドライブ

今回は猪苗代にドライブに行きました。紅く染まった磐梯山を見ながら、いなわしろカワセミ水族館に到着。お目当てのカワソはお昼寝中でした。その後、昼食をとり、遊覧船はくちょう丸に乗船。湖畔から深まる秋を満喫しました。



デイサービスで紅葉狩り会

四季の里、あづま運動公園で紅葉狩りを行いました。運動公園駐車場では、イチヨウ並木のそばでおやつタイムです。綺麗に色づいたイチヨウを見ながら、芋煮に舌鼓を打ち「綺麗だね」「美味しいね」。どちらがメインかはご想像にお任せします。。



ケアハウス「どっちの芋煮でショー」

福島豚肉味噌芋煮と山形の牛肉醤油芋煮の2種の芋煮の食べ比べ「どっちの芋煮でショー」を開催しました。初の企画に皆様大喜び。おにぎりも焼きたてサンマにも舌鼓を打ち、心身ともに満たされた様子でした。



土湯宝生園

デイサービスでバイキング

麺にこだわったバイキングを行いました。ラーメン、そば、うどんの3種から選び、目の前で調理人が茹で、その後トッピングの具材を選びました。さらに、3種のおにぎりから好きなものを選びました。選ぶ楽しさも加わった楽しい一時でした。



まちなか宝生園

炊き出し訓練

非常時を想定した炊き出し訓練を実施しました。災害時を想定した食事提供ということで、簡易ガスコンロ、パーベキューコンロでの調理です。芋煮、焼鳥、玉こんにゃく、アイスクリーム等が提供され、職員も美味しくいただき、楽しい非常時を想定した訓練でした。。。



デイサービスでスノードーム作成

クラブ活動でスノードームを作成しました。カラフルな雪だるまに口と目を描き、発泡スチロールを雪に見立てた容器に、可愛い雪だるまを入れて完成です。出来上がったスノードームをクリスマスツリーの下に並べて、クリスマスの準備が整いました。



アリヴァーレで芋煮会

芋煮会を開催しました。ご利用者に、野菜を切ってもらい、味噌で味付けし、また、ゆかりご飯とワカメご飯でおにぎりをにぎりました。エプロンや三角巾を着けて、楽しそうに作る姿が印象的でした。もちろん美味しくいただきました。



ほのぼの紅葉ドライブ

あづま運動公園へ紅葉見学に行きました。最初にバラ園見学でたくさんの種類のバラを見学し、その後イチヨウ並木を見学しました。黄色く染まったイチヨウを見て皆さん「素晴らしい」と楽しまれました。その後園で、モンブランに舌鼓を打ち、目でも舌でも秋を堪能しました。



アリヴァーレのクリスマス

クリスマス特別メニューは、オムライスやドリアで、おやつは、特製手作りケーキでした。ほんのりピンク色のスポンジはとっても柔らかく、イチゴもふんだんに飾ってあり、とても華やかでした。見た目も味もボリュームも大満足な様子でした。



アリヴァーレ・ほのぼの宝生園

ほのぼののクリスマス

手毬寿司にチキン、サラダと色とりどりのランチは「こんなに食べられるかしら」と言いながらも、あっという間にご利用者の胃袋へ。その後、シャンパンジュースとケーキに舌鼓を打ちながら、歌やボール遊びで楽しめました。心身ともに大満足でした。



特養の忘年会

スタッフ手作りの「ぜんざい」と「おでん」に舌鼓を打った後、今年最後の運試し！ということで「千本引き」に挑戦。「何が当たるかな〜」とわくわくしながら、紐を引きました。食器やアロマ用品などの景品が当たり、笑顔が絶えない忘年会となりました。



デイサービスの忘年会

「色分け輪投げ」と「乾杯リレー」を紅白対抗で競い合い、どちらも接戦でした。職員による「尻相撲大会」では横綱目指して競い合いました。ジュースで乾杯後は「ビンゴ大会」。上位入賞者にはマグカップなどの景品が当たりました。笑顔でいっぱい年末でした。



西部地域包括支援センター

「福島市支え合いお宝」認定

西地域支え合い推進員の活動として報告した西健康麻雀クラブが福島市より「福島市支え合いお宝」に認定されました。地域支え合い推進員は、このような地域にあるコミュニティや小さな人と人とのつながりを「地域のお宝」として見つけ出して、紹介しています。



お菓子作り

今回の調理レクはお菓子作りです。ユニット内で、かぼちゃを潰してタルト生地のにせ、かぼちゃタルトを作ったり、食パンに溶き卵をからめてフレンチトーストを作りリンゴジャムを添えたりして、美味しくいただきました。甘い香りがユニット中に広がりました。



防災訓練

コロナ禍で大きなイベントは行えませんが、防災訓練は別です。避難誘導では、状況やご利用者の状態に合わせて、速やかに避難させる事を年頭に何種類かの誘導方法を行いました。訓練の成果は活かせない機会がないように、日頃から災害防止に努めます。



クリスマス会

ユニット毎に開催しました。お昼は、色鮮やかなサフランライスと、もみの木に見立てたハンバーグでした。おやつタイムには、イチゴやチョコ、チーズケーキ等からご自身で選び「色とりどりで可愛いね〜。食べるのがもったいない」等言いながらも、あっという間に胃の中に。。。その後、サンタに扮した職員から、ボディークリームやブランケット、ドライシャンプーなど、日常で利用できるものをプレゼントされました。嬉し泣きをするご利用者も。笑顔があふれる大満足なクリスマス会でした。



宝寿木村屋

各種ご相談は各施設までお気軽にどうぞ、見学等も随時お受けしております。

土湯宝生園	024-594-5900	西部地域包括支援センター	024-594-5800
アリヴァーレ宝生園	024-594-0061	土湯宝生園指定居宅介護支援事業所	024-594-5902
ほのぼの宝生園	024-594-0063	湯ったりデイサービス	024-594-5900
まちなか宝生園	024-521-1122	法人本部事務局	024-522-6611
宝寿木村屋	024-594-5122	URL	https://www.tahokai.jp Mail honbu@tahokai.jp

相談から施設入居まで
多宝会には、地域包括支援センター、居宅介護支援事業等の相談窓口から、介護認定を受けていないかたが利用できる福島市の委託業務湯ったりデイサービスやケアハウス、介護度に応じて利用できるデイサービス、ショートステイ、特別養護老人ホームがあります。詳細など、多宝会本部事務局に問い合わせさせてみてはいかがでしょうか。